

AUTUMN  
2024



OKAZAKI CITY MUSEUM NEWS  
岡崎市美術館ニュース〈アルカディア〉

# ARCADIA 100

プロローグ

アルカディアは一九九九年に創刊し、二五年を経た現在、ついに一〇〇号を迎えました！創刊号にて当時の芳賀徹館長は、「館の活動をよりよく知ってもらい、より親しんでもらうための情報冊子として刊行」したと述べています。当初の目的通り、本誌は展覧会、収蔵資料の解説など、当館学芸員が作品と誠実に向きあった文章で、より深い教養を提供する場となっています。さらに、芳賀館長や榊原悟特任館長によるコラムなどの場を引き締めるような文章は、本誌をただの広報雑誌ではなく「アルカディア」の名のとおりの学問の「理想郷」を描き出すものへとしています。また、連絡事項や学問的な文章以外にも、「おしゃべりあれこれ」といった、少しくだけたような記事は、学芸員の個性を映し出した、読者の皆様にも親しみを感じていただけるようなものであったと思います。

さて、今回の一〇〇号ですが、そんな学芸員の個性全開の記事となっています。文化芸術の継承者である学芸員たちは、普段、何を思っているのでしょうか。美術博物館という組織ではありますが、その組織の中の一つひとつはひとりの人間です。文化財や作品たちに最も近い場にいる我々にはありますが、その考えも時代や環境により変化していきます。今回の美術博物館をお見せしたいと思います。



アルカディアくん

学芸員紹介

Q1 他己紹介 (当館学芸員どうし)



安本・豊橋生まれ東京都ちの少年。刀剣担当となるべく目下勉強中の少年。(湯谷筆)

田中・感受性豊か、素直。(酒井筆)

今泉・歩く哲学。イマイズム。生きてるだけでそんなに面白いことある？というくらいエピソード強い。(山下筆)

山下・責任感が強く、フォロワーの天才！いつもありがたいです。(物理) (田中筆)

酒井・さっちゃんとしていて、考えを固めて出してくるので困った時にとっても頼りになるお姉さん。(安本筆)

湯谷・無精髭一本一本に宿る、学芸員という仕事と美博への愛情と情熱。(今泉筆)



※画 当館事務員

Q2 自分を一言で表すなら

全部そこそこ。(安)マイペース。(田)

くだおれ太郎。(今)お金を稼ぐ五歳児。(山)めんどくさがり。(酒)ひねくれている。(湯)

Q3 16 Personalitiesのタイプ

INTPIA (論理学者) (安)  
INFPIT (仲介者) (田)  
ENTTP (討論者) (今)  
INTPIA (論理学者) (山)  
INTJIA (建築家) (酒)  
ENFPIT (運動家) (湯)

Q4 専門分野 (超絶簡単に)

日本中世史 (安)  
西洋美術 (近世) (田)  
近現代美術 (今)  
日本近世史 (法制史) (山)  
日本美術史、日本建築史 (酒)  
：日本史？ (湯)

Q5 今の気分は？

お菓子おいしい。(安)  
旅行行きたい。(田)  
いつもふわふわしている。(今)  
カルピスつめたい。(カルピス飲んです)。(山)  
あつい、ねむい、つかれた。(酒)  
いつも何かに追われている。(湯)

学芸員として

Q6 学芸員になった理由

お金をもらって歴史の勉強がしたかったから。(安)  
美術作品の一番近くに行けるから。(田)  
作家ではないけれどもつくることに関わりたから。(今)  
なんとなく学問でご飯が食べた

かった。(山)

人事異動でいくつかの部署にいていろんな仕事をしたけれども、やっぱり文化芸術に関わる仕事がしたいなと思ったので。(酒)  
大学時代の努力が報われる仕事につきたかった。(湯)

Q7 学芸員の職業病

額的なものを見ると水平と傾きが気になる。(今)  
ものを受け取ったときに「もらいました」という。(山)

Q8 学芸員でよかったと思うとき、こと

貴重な作品をケース越しではなく間近で見ることができる。(酒)  
新発見の最前線に立ち会える。(湯)

Q9 学芸員ならではのレア体験

誰もいない展示室に入れる。(田)  
言えないことしかない。(山)  
大樹寺多宝塔の屋根裏に登る。(湯)

Q10 学芸員はつらいヨ

家族でクイズ番組を見ているときに歴史系の問題がわからないと「え〜わかんないの〜学芸員なの〜？」といわれる。(山)  
真面目に働くほどお金が減っていく。(湯)

Q11 苦手な仕事

事務仕事 (田)  
いろんな人の意見を聞く、まとめる、依頼すること。自分のペースでやらせてほしいと思うことがしばしば。(酒)

Q12 学芸員になって嫌だったこと

周りの人がみんな頭良い。(安)

仕事とプライベートの境界があまりない。(湯)

Q13 学芸員になって今までで一番大変だった一日  
朝まで自分で作品の撮影。(今)  
ワクチン接種会場の運営業務。(山)

Q14 転職の予定はあるか  
ご縁があれば。(酒)

なし。岡崎の歴史・資料はすごいので。(湯)

Q15 影響を受けた人物

祖母(本と酒が好きですぐ人と仲良くなる人、美大出身)。(安)  
出会った学芸員全員。(湯)

Q16 目標とする学芸員、学芸員像

大英博物館のハンス・スローン伯爵。(今)  
榊原悟。(湯)

Q17 仕事の上でのマイルール

ずっと100%で仕事しない。力みすぎない。(山)  
資料に敬意をもつ。(湯)

Q18 学芸員の三種の神器といえは?

えんぴつ、メガジャー、ライト。(田)  
接写に強いカメラ、粘着力の強い付箋、強い気持ち。(山)

Q19 仕事の便利グッズ

水平器。(田)  
レーザー距離計。(湯)



Q20 こだわりの学芸員のアイテム  
接写に強いカメラ。(山)  
すぐ脱ぎ履きできるスリッポン(湯)

Q21 今気になっている分野・テーマ  
中世の道や街並み。(安)  
オリジナルティと複製について。(田)

Q22 自分の仕事の中のMVP  
「大河ドラマ特別展」をする家康  
開会式の司会。(山)  
コロナ禍での「贅沢な対話」展の開催。(湯)

Q23 学芸員の装いについて  
動きやすさ重視。美しさを忘れない。(安)  
作品の邪魔にならないようにできるだけモノクロ。(今)

Q24 他の学芸員さんの展示で「やられた!」と思ったこと  
「一行リード」はなるほど!って思った。(安)  
森美術館の「シンプルなかたち」展、21\_21 Design Sightの「土木展」。(今)

Q25 多くの人の評価(来館者数とかSNSの書き込みとか)を意識するの  
か  
正直あまり興味がないけど評価されたらうれしい。(安)  
エゴサはかなりしてます。それでキャプション等の間違いや案内不足に気づくこともしばしば。(酒)

Q26 業界内の評価を意識するのか(展示で)  
ちよびつと。(山)

Q27 一般の評価と業界の評価(展示で)、どちらがぶっちゃけテンションが上がるか  
本音の評価ならどちらも。(湯)

Q28 美術学芸員と博物館学芸員は、お互い心の底では実は分かれ合えないって、ホント?  
人間と分かれ合うのは難しい。(山)  
わからないことがわかるからおもしろいです。(湯)

Q29 美博に来た理由は?(動機など)  
森の中にあって隠れ家的なところが良かったから。(今)  
天のみちびき。(山)

Q30 お気に入りの美術館・博物館  
DIC川村記念美術館、地中美術館。(田)  
おかざき世界子ども美術博物館。(今)

Q31 今まで見た展覧会でもっとも印象に残っているもの  
改めて、「どうする家康」展はすごかった。(安)  
鈴木其一・夏秋溪流図屏風展(根津美術館)  
この屏風を徹底検証する過程を、

Q32 (他館の)展覧会の楽しみ方  
全部を隅々まで見ようとすると疲れるので、何か一つでもお気に入りを見つけて帰るといい気持ちで。(山)

Q33 お気に入りのチラシ  
ルネ・ラリック展。(田)  
贅沢な対話展。(今)

Q34 これはすごい、図録・チラシ(他館)  
鎌倉文化交流館はチラシが毎回かわい。(安)  
出光美術館開館六〇周年記念展覧会の図録。一八〇度ばかりとページが開くので、見開き掲載の図版が途切れず、見やすくきれい。(酒)

Q35 美術館・博物館の見方、まわり方  
一日三館まで、荷物は全部預けて手ぶらで。(山)  
一回ざっと全部回ってから、気になる資料をじっくり眺める。(湯)

Q36 フェイバリットな館の資料  
太刀 銘 有綱(安)  
メレット・オッペンハイム《鳥の足のテンプル》。(田)  
マリナー・アブラモヴィッチ《人間と精神のための椅子》。(今)  
ロベルト・マッタ《炎よ、我らを食さん》。(山)  
初めて受入れ担当させてもらった緒方家資料は、どうしても思い入れが強いです。(湯)

博物館について

Q37 美博の立地は好きor嫌い？  
 駅から遠い！やだ！（安）  
 車だと行きやすいのですき。（山）



マリーナ・アブラモヴィッチ  
 《人間と精神のための椅子》1966年  
 © VG BILD-KUNST, Bonn & JASPAR, Tokyo, 2024 B0804



ロベルト・マッタ《炎よ、我らを食さん》1988年  
 © ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2024 B0804



メレット・オッペンハイム  
 《鳥の足のテーブル》  
 1939年制作 / 1983年鑄造  
 © 2024 by ProLitteris, Zurich & JASPAR, Tokyo B0804



「贅沢な対話」展

Q40 これまでの美博の展示で印象的なもの  
 「ひらいて、むすんで」（安・田）  
 「贅沢な対話」展（山）  
 「興福寺国宝展」。高校生のとき、初めて自分ひとりで美博に行った。歴史の教科書で見た無著・世親像が目の前にあって、見上げるほどの大きさと迫力に驚いた記憶があります。（酒）  
 「そこに在るということ」。初めて「こんな展示作れるの悔しい」と思った展示。（湯）

Q38 美博のここがすごい！と思うところ  
 展示の照明。（安）  
 「心を語るミュージアム」というテーマとリンクした建築。（今）  
 Q39 美博の好きなところ  
 さりげなく、野外彫刻があるところ。（田）  
 ライティングが繊細。（山）



Q44 こだわりの、あるいは自慢の展示  
 備品、照明器具  
 チンアナゴ（小さいライト）（山）  
 左下…今泉作の「考える人」

Q43 ぜひともFAで入手したい資料  
 スミスニア協会有るといいう篤姫の女乗物。（山）  
 人的補償のプロテクト枠が足りないからいらぬ。（湯）

Q42 収蔵庫はひとりで入るときおぼけとかちよつと怖い  
 こ、こわくないし。（安）  
 全くない 人間の方が怖い。（山）  
 おぼけよりも、脚立に上って作業するときの方が怖い。万が一収蔵庫内で転倒して動けなくなっても、すぐには気づいてもらえない…。（酒）

Q41 収蔵品、どれでもひとつもらえたらどれにする？  
 太刀 銘 有網（石塔切）。（湯・安）  
 マン・レイ《ガラスの涙》。（田）  
 メレット・オッペンハイム《鳥の足のテーブル》。シュルレアリスム云々を抜きに、鳥の足跡がかわい。（酒）

Q 初めてのころは横書きだったのに、今は縦書きだね。なぜ？  
 日本語の文章の美しさは縦書きであってこそ！という芳賀館長の強い意向よ。四五号にそのお詫び文が載っているから、ぜひ読んでみて。

Q ステキな名前だね。ところで、誰が名付けたの？  
 創刊の前年に就任した芳賀徹館長よ。ほかにね、館員が提案した中から芳賀館長を選んで採用したと聞いているの。でも、今回その裏づけはとれなくて。それと、当時テロ組織のアルカイダに似ているということに躊躇する声もあったらしいわ。

コラム①  
 Q ねえ、アルカディア(Arcadia)ってどういう意味なの？  
 ギリシャのペロポネソス半島にある高原地帯の地名よ。西洋では、そこでの平和で田園牧歌な生活が理想化され、詩や絵画に讃えられてきたの。東洋でいえば桃源郷に匹敵する理想郷のことね。

Q45 こだわりの、あるいは自慢の展示台、展示ケース  
 低反射の展示ケース（山）  
 Q46 出しどころが難しいけれど重要な収蔵資料  
 一六・五世紀全般。ぜひとも活用したい。（湯）  
 Q47 博物館法改正に対する応答、できていることいいこと、進行中のこと文化財の活用ありきはどうしても

抵抗がある。やはり保存が基底にあるべき。(湯)

Q48 文化芸術基本法に対する応答、できていないこと、進行中のこと

これまで美術館／博物館に行かなかった人に来てもらうこと、0を1にするアウトリーチは今後意識して取り組みたい。(今)

Q49 美術館であることのメリット／デメリット

複数の見方を提供できる／美術・博物館の展示の順番待ちが発生。(安)  
異文化交流／展示ケースの好み合わない。(山)

Q50 収蔵品を活用してつくりたいミュージアムショップのグッズ

服、アクセサリー。(安)  
かわいいうつろバッグ。(田)  
マグリット作品を用いた仕掛け絵本。(今)  
南蛮漆器のトートバッグ。(山)  
ぬいぐるみをぜひ！(酒)

Q51 収蔵品とコラボレーションしてつくりたいブランドグッズ

イッセイミヤケ(今)  
イルビゾンテの革製品(山)  
ふわふわで丈夫な今治タオル。何本でもほしい。(酒)

Q52 候補になっていないけどいまだに実現できていない企画展

江戸時代の事件簿。(山)

Q53 もしも自分が市長なら…美博をこえます！

・ 駅近に移設します。(田)

Q54 自費でミュージアムをつくるならどんな館にしたい？

・ 学芸員がギャラリートークでロウリュウするサウナ美術館。(今)  
・ 猫が歩いたりケースの上で寝ていたりする空間で展示。(湯)

Q55 コラボしてみたい相手(庁内他課の事業や業界など)

・ 美容業界。(山)  
・ スマートモビリティ界隈。美博のアクセスの悪さを、美博に行くまでの楽しい体験に変えたい。例えば根石小学校南東交差点から中総へつながる道路は中央分離帯が車一台通れる幅がある(元々は救急車専用レーンだったので、ここから楽しい乗り物に乗れるとおもしろいかも。(酒)

Q56 美博で起こった珍事件

・ 幽霊騒動。(田)  
・ 机の上に小さいバツタがいたのに誰も信じてくれなかった。(山)

受付から見た美博

Q57 美博の印象は？

・ 時に美しく、時にミステリアスでとても癒される空間。

Q58 美博のここが好き

・ 混んでいなくて、ゆったり鑑賞できるところ。うす暗い展示室も好きです。

・ 青空と緑に映える外観！

Q59 美博の珍エピソード

・ 日差しの強い季節は、館内にも日焼け止めが必要。笑  
・ ヘビ、トカゲ、ヤモリ、蜂、カマキリ、etc. 自然豊かなため、色々遭遇します。

Q60 今までで一番好きな美博の展覧会

・ 渡辺省亭。  
・ お客さんとして来館したチェコのデザイン展、暮らしのうつりかわりの展示も好きでした。



渡辺省亭一吹米を魅了した花鳥画  
令和3年5月29日(土)  
-7月11日(日)



暮らしのうつりかわり  
令和2年1月25日(土)  
-3月12日(木)

Q61 学芸員たちの印象は？

・ 尊い。  
・ 展示の工夫がすばらしい。若い学芸員さんも頑張っている。

Q62 アルカディアは読んだことある？

・ 毎号読んでいます。  
・ あります。今号楽しみにしています。

Q63 好きな記事は？

・ 江戸時代の事件簿  
・ 全ておもしろかったり、ためになったりですが、私は前にあった裏表紙の「おしゃべりあれこれ。」や米田さんが書かれていたファッションのコラムが好きでした。

アルカディアについて

Q64 自分にとってのアルカディア(アザリスカイ的な)

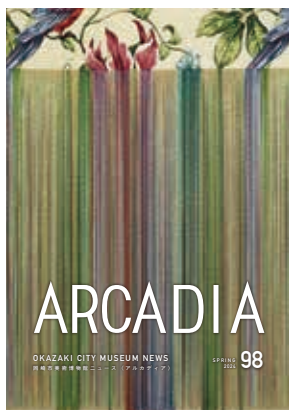
・ 多摩センター。(安)  
・ Lyon(フランスでの留学先)。(田)  
・ プロンペンのスモークキー・マウンテン。(今)  
・ 大学の院生研究室。(山)  
・ 山口市。二年しかいなかったのに謎のふるさと感。(湯)

Q65 これまで出たアルカディアの中でオススメの記事

・ 芳賀前館長の記事(博識で才筆)。(安)  
・ 自分で書いたものだとNo.八六の収蔵品コラム、美術資料と歴史資料ふたつを絡めて書いています。(今)  
・ 江戸時代の事件簿読んでくださ

い。(山)  
四五号芳賀前館長による、横書きレイアウトへの「陳謝」。(湯)

Q66 **アルカディアの好きな表紙**  
四七号、桃源万歳。(湯)  
九八号。(田・今)



ARCADIA 98号

Q67 **特集号を組むなら何やる？**

学芸員今泉岳大の生態。(安)  
「必要な展覧会、必要ではない展覧会」。(今)  
学芸員のカバンの中身。(山)  
展覧会ができるまでを追ったドキュメンタリー。(酒)  
超高額で購入した資料の徹底解説。(湯)

### 博物館実習生への質問

博物館実習生より学生の視点から質問に答えてもらいました！

Q68 **学芸員になりたい(実習後)？**

実際に間近で現場で働いていらっしやる憧れの学芸員さんたちを見たからこそ、なりたいたい気持ちが一層強くなりました！(神谷)  
チャンスがあれば！(加藤)

機会があれば考えたい。(柴田)  
直近では考えていないが、どこかで資格を活かす機会があれば嬉しいです。(近藤)  
学芸員としてはもちろん、外部から美術館に関わるお仕事にも興味がありました。(石原)

Q69 **実習で驚いたことは？**

学芸員はそこまで表に出ないこと。(加藤)  
思った以上に和やかな雰囲気だったこと。(神谷)  
美博が初期案だともっと大きかったこと。(近藤)  
展示室の工夫されている部分や、普段見ることのできない様々な施設。(柴田)  
見学者の目線では分からなかった、展示室内の充実した機能面。(石原)

Q70 **実習で楽しかったことは？**

様々なジャンルの資料に触れさせていただいたこと。(加藤)  
普段は入れない場所に入り込んで、貴重な体験をさせていただけたこと。(神谷)  
近い距離で様々な資料に触れて観察できたこと。とてもいい経験になりました。(柴田)  
教科書でしか見た事のないような民具に触れたこと。緊張感と興奮でいっぱいでした。(石原)  
資料取り扱い実習。他分野の資料にも触れることができて新鮮でした。(近藤)

Q71 **実習生からみた美博学芸員の雰囲気は？**

時には和気藹々と、時には真剣に

敬意を持って資料に向き合っていてとても尊敬する方々です！(神谷)  
和気あいあい！かつリスベクトを持って仕事をされてる姿がかっこいい！(石原)  
お仕事の事もそれ以外の事も知識と愛がすごい！楽しそうにお話しされているのが印象的。(加藤)  
学芸員の方同士の間がいい！個々の意見も言いやすそうな穏やかな雰囲気。(近藤)  
楽しそうに話されている印象。一方、作品に対しては情熱を持って向き合うというメリハリがしっかりされている方々ばかりで素敵です。(柴田)

Q72 **もし学芸員になったらどんな展示をしたい？**



令和6年度実習生 YOUR TABLE 前階段

「謎のある絵(謎絵)」をコンセプトにした子供向け謎解き展覧会。(神谷)  
「視点」をテーマにした写真展。(柴田)

日本史の裏側や実はこう、を体験してもらえる展示。(加藤)

スペインボデゴン展。あまり来日しないスペイン美術を軸にコンセプトの一貫した展示がしてみたい。(近藤)  
実際に見て触れられる展示。家で資料を見るだけでは出来ない美術館だからこそその展覧会。(石原)

### 博物館実習生からの質問

Q73 **仕事で一番テンションが上がることは？**

この先、研究や展示等で忙しくなることが確定した瞬間(忙しいその時ではない)。(安)  
作品の一番近くにいるとき。(田)  
企画構想やテキストの執筆で面白いアイデアが浮かんだとき。(今)  
直接見たことある資料が展示ケースに展示されてるとき。(山)  
狙ってやったことがうまくハマったとき。(酒)  
資料調査の帰りの車中で資料について議論するとき。(湯)

Q74 **卒論・修論のテーマは？**

「中世民衆による縁起の認識と利用」(安)  
「一九世紀フランス文化から見るトゥールーズIIロートレック『洗濯女』について」(田)  
「ウォーホルの蒐集について」(今)  
「熊本藩法における女性に対する刑罰の運用」(山)  
町並み、建築史。(酒)  
「近世山間農村の林野利用」(湯)

Q75 **美博の第一印象と今の印象は？**

第一印象…スピリチュアル 今…多重人格(今)

第一印象…ずっしり 今…軽やか。  
(湯)

Q76 一年でどれ位美術館に行く？

二〇くらい。(安・山)  
三〇くらい。(田)  
五〇くらい。(今)  
二〇〇三〇くらい？(酒・湯)

Q77 過去の展覧会の裏話

会期中に主担当が入院した(自分は副担当)。(安)  
誰もいない館で一人、一二月三日まで仕事した。(田)  
開催前に関係者が失踪。(今)  
主担当展示開催中に入院(山)  
早朝の静岡駅に放置プレイ。(湯)

プライベートについて

Q78 人生に影響を与えた体験

夏休みの家出と国外放浪。(今)  
サンタさんの正体に気づいたこと。(山)

Q79 子どものころはどんな子どもだった？

好きなことにしか興味がない。帰りの準備だけは早かった。(安)  
すぐ自分の世界にいつちやう子ども。帰りの準備が遅い。(山)

Q80 子どものころの将来の夢

歴史に関わる仕事。(安)  
CA。(田)

Q81 今の将来の夢

宇宙飛行士、革命家、国際諜報機関エージェント。(今)

Q82 生まれ変わったらやりたい仕事

アイドル。(安)  
猫になりたい。(湯)

Q83 違う分野を研究するならどの学問

生物学。(安・今)  
プログラミングとかAIとかの技術系。フルリモート勤務で、成果がわかりやすく給料にきちんと反映される仕事がいいです。(酒)

Q84 歴史上の人物で会いたい人は誰？

クロード・モネ。(田)  
ウイリアム・モリス、円空、あと飛脚を見てみたい。(今)

Q85 欲しい特殊能力

瞬間移動。(田・酒)  
他人の特殊能力をコピーできる能力。あと、かめはめ波的な飛び道具が出せる能力。(今)

Q86 (岡崎出身でない人へ)、岡崎のことが好き、自分の故郷のこれが好き

岡崎…東京・大阪・京都に陸続き。福岡…スーパーに売ってる魚の質が良い。(山)  
岡崎…関東にも関西にもアクセス良好。  
鳥取…時間がゆったり流れる。(湯)

Q87 岡崎で受けたカルチャーショック

電車でもどこにでも行けるわけではないと知った。(安)  
三河弁。(田)

Q88 休みの日の過ごし方

寝て寝る。(安)  
休みの過ごし方を考える。(今)  
お茶、ボクシング、博物館、酒、寝る。(山)

Q89 いわゆるワークライフバランスは

何点？  
百点。(今)  
百点！(山)  
マイナス二〇点。(湯)

Q90 人生で一度は行ってみたい場所

スミノニアンの保管施設。(今)  
絶対秘仏が納められた厨子の中。(湯)

100 シリーズ

Q91 百万円あったら何を

眺めるだけだった作品を買う。(酒)  
移動図書館車の購入資金に充てる。(湯)

Q92 百日休みがあったら何を

世界一周。(田)  
いろいろな温泉地を巡りながら好きな研究をする。(山)

先の話

Q93 学芸員人生の最後にやりたい展覧会

プリミティブでフェティッシュで破滅的な展覧会。(今)  
古文書みりよく発見 リベンジ。(湯)

Q94 美術系↓歴史系が相互に思う、

もっとこんなことやしてほしい  
「常識」を客観的に見られるような展示を期待。(安)

美術系展示の方が親和性のある対話型鑑賞に取り組んでもらい、歴

史系でも取り入れたい。(山)

Q95 美博常設展示問題

類似施設を統合、まちなかに移転しましょう。(酒)  
岡崎の通史を知れる場は必要。(湯)

コラム②

『アルカディア』の広報誌としての役割  
本誌『アルカディア』が、当館にて隔年で発行している年報と研究紀要(二〇〇五年から発行)とは別に、広報誌という情報メディアとして館の活動を発信してきたことは、逆に言えばミュージアムの多面的な活動が外から見えにくいことを示しています。資料を後世に継承し、資料を媒介に過去と未来を繋ぐという役割を持つミュージアムは、現代だけを向けているのではなくありません。そのため、現代を生きる人にとってミュージアムの活動は一見浮世離れしているようなズレを感じる場合もあるでしょう。『アルカディア』は執筆する我々がそのズレを確認しつつ、それでも手を変え品を変え人々に親しんでもらい、関心と共感を求める寄る辺であるのです。「もの」を後世に残すには、現代の人にも意味や価値を理解してもらわなければならない。美術作品に感動したり、歴史資料から過去を知ることそのひとつです。現代もまたやがて過去となりミュージアムに収集されます。本誌『アルカディア』を含めた当館の教育普及と広報活動は、ミュージアムと現代を生きる人々との分ち難い繋がりを可視化させるための当館の声なのです。(今)

Q96

夢の本館棟建設と常設展示室に向けてとりあえず展示プランと出品リスト案つくりました

美術常設用の小部屋で、シユルレアリスム／現代美術／地域作家などを順番に。(酒)  
やはり当初案「矢作川流域の歴史と文化」の実現！(湯)

Q97

実現できないであろう企画展案ですがとりあえず展示プランと出品リスト案つくりました

「擬人化の日本美術」  
鳥獣人物戯画や百鬼夜行絵巻など古美術の名品から、艦これ・刀剣乱舞など現代ポップカルチャーまで、いろんな擬人化作品を通して歴史と魅力を探ります。(酒)  
「大仏の系譜」  
東大寺大仏から牛久大仏まで、当館のある公園内各所に大集合！矢作川からも確認できる大仏は圧巻!!(湯)

Q98

今の美博の課題とほしい人材・能力  
保存科学に長けている人、修復に詳しい人。(山)  
美術・博物館を融合、あるいは超越できる知識と展示能力。(湯)

Q99

今後最も優先的にやっつけていかなければならないと思う仕事  
コンセプトリニューアル。(今)  
資料整理(モノもデータも)。(酒)  
地域資料を地域の人びととともに守る。(湯)

Q100

今後の美術館・博物館はどのようなべきか(博物館法への批判なども含め)  
資料の保存▽調査・研究▽展示。

(安)  
何よりもまず保存。今ある資料を千年後に繋ぐという意識を前提とすること。(湯)

### エピローグ

社会一般でみたときに、ミュージアムはどのような存在なのでしょう。文化芸術は人々の生活に必要な不可欠なものではないかもしれません。現に、地方自治体の財政は近年ますます苦しくなっている中で、文化芸術分野は予算を削られることも多く、その立場はどんどん危うくなっています。そのような時代で私たちにできることは何なのでしょう。そして、広報誌としてのアルカディアはその中でどのような役割を果たしていけばよいのでしょうか。美術博物館の仕事は展覧会以外では表に見えづらく、「普段なにやっていますの？」なんて聞かれることもよくあります。しかし、美術品や文化財が人々に大切にされている限り、私たちの仕事はなくなることはありません。そんな私たちの活動を広め、より皆さ



まに文化芸術に興味をもってもらう、未来に残していくための力を生み出すのがアルカディアなのではないでしょうか。「アルカディア」は人々の理想郷であり、理想は人々に夢や力を与えます。理想をこの場だけに留めず、たくさんの人に広めていくことが求められているものといえましょう。

さて、当館は二年弱の工事休館となりますが、その間、本誌は美博の「窓」として、当館の活動を皆さまにお見せしていきたいと思えます。一〇一号以降のアルカディアもどうぞお楽しみにお待ちしております。  
なお、今回の一〇〇号刊行にあたって、美博受付の方々(ツツイエーターイメント様)や博物館実習生の皆さんには、質問の回答や編集など、様々な場でご協力を賜りました。この場をもってお礼申し上げます。

#### 表紙画像:

- 4 ジャン・バティスト・ナティエ《アンゼリカとメドロ》 当館蔵
- 35 岡崎乾二郎《時を計って梯子を登る。〜》2007年 当館蔵
- 41 《馬形埴輪》 外山3号埴輪出土 古墳時代後期 岡崎市蔵
- 44 村瀬恭子《Cave of Emerald(Exit)》 当館蔵
- 55 昭和30年代の茶の間風景(平成22年度展覧会より)
- 59 昭和30年代の茶の間風景再現(昭和24年度展覧会の様子)
- 63 《享保雛》江戸中期〜明治初期 当館蔵
- 65 ヴィクトル・ブローネル《誕生の球体》1939年 当館蔵
- 69 手回しミシン(シンガー社、昭和10年代使用) 当館蔵

- 73 新制小学算術教育掛図 当館蔵
- 80 鶴田卓池画賛《六俤仙図并句》岡崎市美術館蔵
- 81 商品パッケージ(水枕)《氷のスタンドセット》当館蔵
- 85 《加藤清正の虎退治》(岐阜・美濃姫土人形)、《饅頭喰い》(京都・伏見人形)、《寧王女》(愛知・棚土人形)、《七福神》(秋田・棚土人形) 全て当館蔵
- 87 松岡徹《岡崎ノ化ケ猫》2021年 作家蔵
- 90 名取春仙《春仙似顔集追加 十五代目市村羽左衛門 助六》部分 当館蔵
- 92 国島征治《Wrapped Memory》1999年 当館蔵
- 98 手塚愛子《Fragile Surface - Bird (24-07)》作家蔵
- 99 歌川広重《江戸高名会亭畫 芝神明社内車轡様》東京都江戸東京博物館蔵



設備改修工事のため、岡崎市美術館は令和8年6月末(予定)まで休館いたします。

H P <https://www.city.okazaki.lg.jp/museum>

ARCADIA OKAZAKI CITY MUSEUM NEWS

[岡崎市美術館ニュース/アルカディア] 第100号 2024年10月発行  
編集・発行 岡崎市美術館  
〒444-0002 愛知県岡崎市高隆寺町1番地 岡崎中央総合公園内  
TEL 0564-28-5000(代表)